

IKKAN SUMMARY 鹿児島コース概要

月	日	曜日	場所	内容	住所
8	26	水	ソニーセミコンダクタ九州株式会社	前工程	鹿児島県霧島市国分野口北5-1
8	27	木	株式会社モレックス喜入	マスク	鹿児島県鹿児島市喜入一倉町11620番地45
8	28	金	株式会社藤田ワークス	製造装置部	鹿児島県霧島市国分上野原テクノパーク12番18号

研修の様子

■前工程:ソニーセミコンダクタ九州株式会社



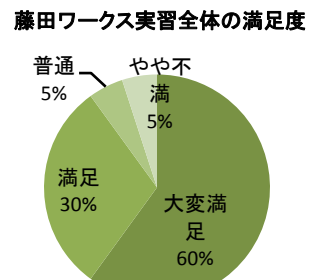
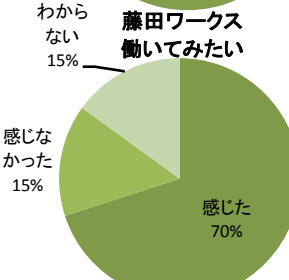
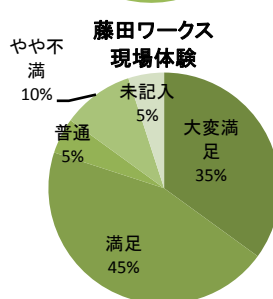
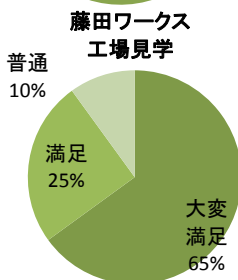
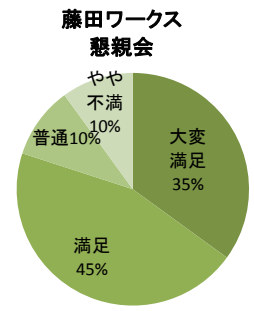
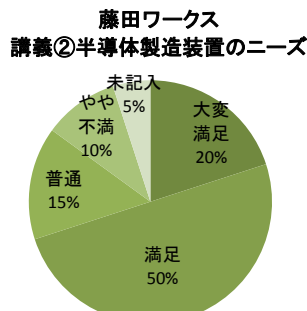
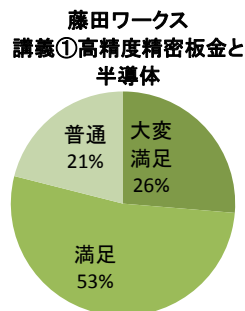
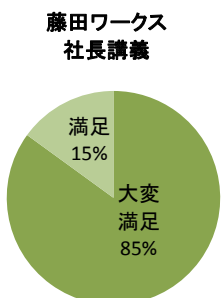
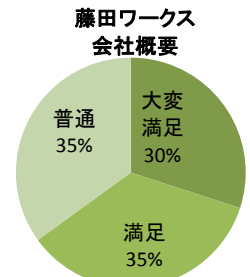
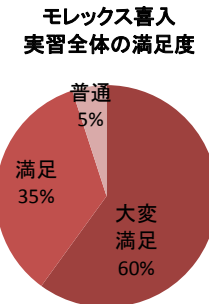
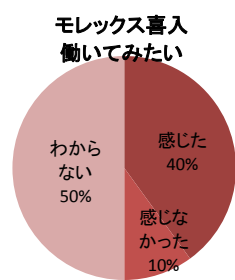
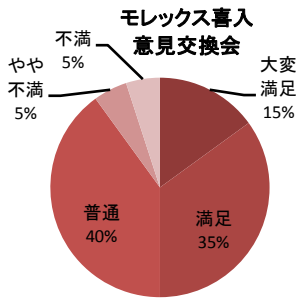
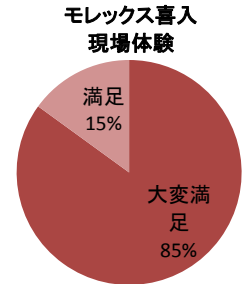
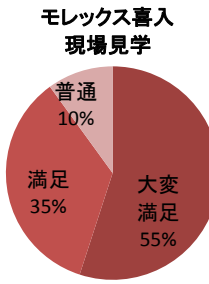
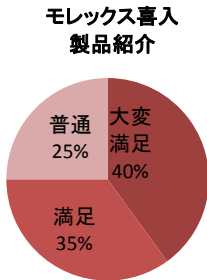
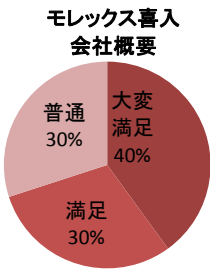
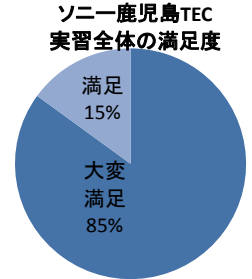
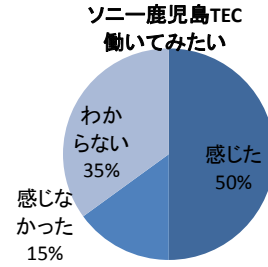
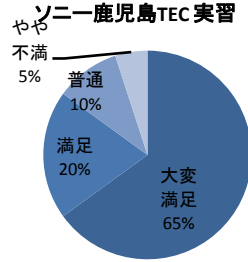
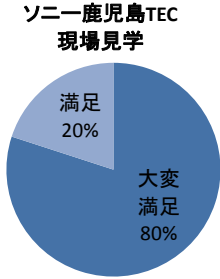
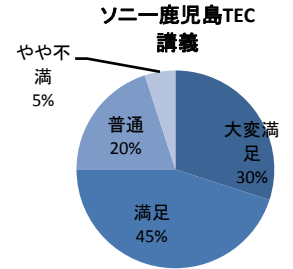
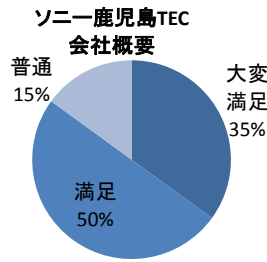
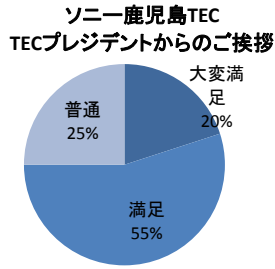
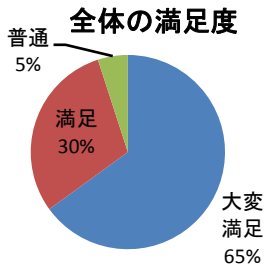
■マスク:株式会社モレックス喜入



■製造装置部品:株式会社藤田ワークス



学生アンケート結果



学生参加の同期

- 学校の掲示板で紹介されていてインターシップに参加してみたいと思ったし、授業で半導体については習ってはいたが実際は目にする事もなかったの、製造工程や加工技術を学べるいい機会だと考えたから。
- 別な分野にも視野を広げてみようと考えていたから(情報生体システム工学専攻の学生)
- 大学の教諭からの紹介

受入れ各社に関する感想

■前工程:ソニーセミコンダクタ九州株式会社

- ソニー鹿児島TECさんの現場の雰囲気がとてもよく、また、働いている方を見て自分の担当の仕事にとっても満足しているようであったので、自分も働いてみたいと感じた。
- どんな製品を造っているのか、会社の組織がどのようになっているのかなど、ソニーセミコンダクタ九州株式会社について丁寧に説明してくださったので、とてもわかりやすかった。
- 企業のトップが挨拶していただけることから、鹿児島TECの当日への意気込みが感じられた。
- 短い時間ながらもわかりやすく説明していただき、説明と同時にまたは直後にその現場を見学できたのでより印象に残った。特に、クリーンルームへ入室させていただいたことに感謝します。
- クリーンルームのような厳しい環境の所に入るのは初めてだったので緊張の連続であったが、その分貴重な作業工程を見学することができた。今回の鹿児島TECでのインターンシップの内容は、教科書よりもわかりやすく、授業で学んだことをより深く印象付けてくれた。
- 会社の雰囲気が楽しそうでした。一方で自分に同じようなことができるのかなどと不安に思いましたが、仕事内容もものを実際に自分たちの手で作っている感じが体感できて良かったです。

■マスク:株式会社モレックス喜入

- 実際に自分でエッチングを行うことによって、過程がすんなりと理解することが出来た。自分の出来はあまり良くなかったが楽しかった。またこれを高精度で行う技術には驚いた。
- この3日間のなかで具体的に自分の手でものを作ったのはこちらの会社のみでしたので、とくに感動しました。
- マスク作成からエッチングまでIKKAN SUMMARYを通して一番実習らしい実習、体験らしい体験だったと思うし、ほんとに楽しかった！
- 実習を行いながらエッチングの工程を説明していただいたおかげですんなりと理解をすることが出来、また自分と年齢の近い技術者からいろいろと話を聞くことで明日からの勉強のモチベーションになった。
- 実際にエッチング工程を体験できたのは貴重だったし、また、会社に必要な人材についての講義も聞いていて良い勉強になった。
- 講和の企業が求める人材の話や、現場体験における貴重な体験など、非常にためになることがたくさんあった。この日だけで、フォトエッチングの理解度はかなり深まった

■製造装置部品:株式会社藤田ワークス

- 今までは中小企業より大企業がいい。という漠然とした考えがあったけれど、今回のインターンシップを通して、その考えは間違っていることに気がきました。中小企業でも大企業に負けない技術を持っていることを知り、また、中小企業だからこそ社長と社員の距離が短いので会社全体で会社を良くしていこうという一貫性も生まれてくるのだと感じました。
- 製造業頑張れ！とおもった。製造業があんなに日本を支えているというのは驚きの事実だった。
- 社長の講義はほんとうにすばらしかった！やはり人の上に立つ人というのは、高い志がないとダメなのだと思った。
- 僕は初め板金というものがどういったことなのかすらわからない状況だったので、この説明で藤田ワークスがどういった仕事を行っているのかはもちろんのこと、板金の技術を利用してさまざまなものができるのだなおもいました。
- まず自分が情報系だということで、あんなに大きなロボットを、コンピュータで制御するなんて！というところがすごく驚いた。いろいろ制御しているという知識はあったが、実際に目の前で無人で大きな板金を加工しているのを見てほんとにすごいとおもった。また、工場内の掲示板やモニュメント、看板、装飾など、藤田ワークスさんで加工されているとおもわれるものがたくさんあって面白かった。展示室の作品もすごかった。あれはすごい。

IKKAN SUMMARY全体の感想

- 半導体産業がとても興味深い分野であることを身をもって体験し、将来の半導体産業への進路も考えるようになった。
- 半導体産業の奥深さを思い知らされた。実際の現場を見ることで働くということの一つのイメージも持つことができた。さらに自分にもできる、やってみようという思いが浮かんできた。全体を通してチャレンジということばがキーワードになっているように感じた。就職を意識してから自分も気を付けるようにしているが、ますますその勇気が湧いてきた。
- 視野を広げるために参加した結果、就職活動での選択肢が1つ増えたことを感じました。
- 正直言って、参加前は半導体の知識は全くと言っていいほど身に付いておらず、興味もさほどなかった。しかし、このIKKAN SUMMARYを通して各企業で半導体について説明をうけ、さらに工場内を見学させてもらったことにより、改めて半導体の知識を身につけることができたと思う。また、各企業で聞いた話は、自分の視野を広げてくれるものが多かった。